



平成23年3月25日

会社名 日清オイリオグループ株式会社  
代表者 取締役社長 大込 一男  
(コード番号 2602 東証・大証第1部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 藤井 隆  
(TEL. 03-3206-5109)

## Industrial Química Lasem, S.A. (スペイン) の子会社化について

当社は、本日、欧州における化粧品用油脂の製造販売企業である Industrial Química Lasem, S.A. (スペイン、以下、IQL社) の株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の背景

当社グループは、経営基本構想GROWTH 10「“植物のチカラ”を新たな価値へ」を推進しており、2011年度から始まる3年間を「フェーズⅡ」とし、「安定した収益基盤の確立」と「確かな成長の実現」を目指して、積極的な取組みを実施してまいります。

「確かな成長の実現」のためには、製油事業、加工油脂事業に次ぐ収益の柱を育成する必要があり、その候補となる事業を成長事業として位置づけ、積極的に経営資源を投入いたします。

今般、IQL社の株式を取得することにより、成長事業の一つであり、当社が国内で強い事業基盤を持つファインケミカル事業の海外展開を大きく拡大するとともに、当社グループとして欧州に事業拠点を獲得することで、GROWTH 10で目指す国際的な企業グループへ到達するための布石といたします。

#### 2. 株式取得の意義

当社のファインケミカル事業では、化粧品用油脂を中心とした事業を展開しており、国内では、大手化粧品メーカーなどに高品質な原材料を30年以上に渡り供給し、化粧品用油脂においては最大手となっております。

同事業では、グローバル展開を進めており、2007年に、ドイツに販売子会社(Nisshin Oililio Fine Chemicals GmbH)を設立し、化粧品の最大市場である欧州エリアでの販売拡大を目指して事業を展開してきました。

この度、当社が株式取得するIQL社は、欧州の主要な化粧品用油脂の製造販売会社で

あり、これにより当社は、欧州に生産拠点を獲得することとなります。

今後、両社が持つ経営資源、技術、販売網を相互に有効活用することで、欧州における化粧品原料などの当社製品の販売シェア拡大、製品供給体制の拡充、また、アジアにおける当社販売網の活用によるIQL社製品の販売拡大など、地域的な補完関係を中心とした投資効果を獲得し、より一層のグローバル展開を加速してまいります。

### 3. 株式取得の概要

- (1) 対象会社 Industrial Química Lasem, S.A.
- (2) 株式取得の相手先 Josep Martí Pellisé (Grupo Lasem President)  
Josep Betriu Pi (IQL社 CEO)  
Mercapital (private equity fund)
- (3) 株式保有割合 今回取得前 0%  
今回取得後 85%  
ただし、1年経過後に15%を追加取得し完全子会社とする権利を保有しております。
- (4) 取得価格 負債を含めた取得総額 26百万ユーロ(100%企業価値相当)
- (5) 契約締結日 2011年3月25日

### 4. IQL社の概要

- (1) 商号 Industrial Química Lasem, S.A.
- (2) 代表者の氏名(役職) Josep Betriu Pi (Chief Executive Officer)
- (3) 所在地 スペイン (バルセロナ近郊)
- (4) 設立年月 1975年
- (5) 主な事業内容 化粧品用原料、潤滑油の製造販売
- (6) 資本金 約10百万ユーロ (約12億円 <115.72円/ユーロ換算>)
- (7) 決算期 12月31日
- (8) 従業員数 約40人
- (9) 最近3年間の業績

単位:百万ユーロ

	2008年	2009年	2010年
売上高	25	19	26
EBITDA	△0	1	4

### 5. 今後の見通し

本年7月を目処に株式取得を完了する予定です。

なお、本件による当社の業績、財政状態に与える影響につきましては、精査を行なっておりますが、影響が大きい場合には株式取得後にお知らせいたします。

以 上